

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
H204	世界経済論 / 国際経済論 I	2年	講義	2	田部井信芳
授業概要 貿易の利益、比較優位、貿易政策、直接投資、WTO、経済統合など国際貿易に関する基礎について説明する。また、国際収支、為替レート、国際通貨制度など国際金融に関する説明を行う。現実の世界経済に関連させて説明し、グローバル化する世界経済を理解するための分析手段を提供する。					
到達目標(学習の成果) ・世界経済に関する知識を習得し、世界経済の現状について理解することができる。(DP3「問題解決力」) ・世界経済に生じている課題を理解し、その対応策について考察することができる。(DP3「問題解決力」)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	世界経済の現状	世界経済の現状と課題を把握する			
2	国際収支と為替レート	国際収支と為替レートの基礎について理解する			
3	貿易の利益	貿易の利益と貿易が生じる要因について			
4	比較優位	比較優位の原理により貿易を説明する			
5	貿易政策	関税などの貿易政策の効果について			
6	直接投資	直接投資が生じる要因とその効果について			
7	WTO	WTOが貿易自由化に果たした役割について			
8	経済統合	経済統合の形態とその効果について			
9	経常収支	経常収支の経済効果とその調整について			
10	為替レートの決定	為替レートの決定要因について説明する			
11	国際通貨制度	IMFと国際通貨制度の安定について			
12	国際金融市場	国際金融市場の機能としくみについて			
13	アメリカ経済	アメリカ経済の現状、課題と今後の動向			
14	EU経済	EU経済の現状、課題と今後の動向			
15	アジア経済	アジア経済の現状、課題と今後の動向			

準備学修(授業外の自己学修)

- ・講義の中で指示する経済用語について調べてくること。
- ・新聞やニュースにより、日頃から世界経済について問題意識を持つこと。

成績評価の方法・基準(%表記)

出席・授業態度(30%)

学期末試験(70%)

観点	S	A	B	C
世界経済の現状に関する理解	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている
世界経済の課題に対する対応策	完全に考察できている	ほぼ完全に考察できている	十分に考察できている	一定程度考察できている

教科書

特に使用しない。

参考書等

伊藤元重『ゼミナール国際経済入門』日本経済新聞社

澤田康幸『国際経済学』新世社

履修上の注意・学修支援

質問等がある場合、オフィス・アワーを利用すること。